



2020年3月期 決算発表



琉球銀行

琉球銀行グループ
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

第28回(2019年度)りゅうぎん紅型デザインコンテスト 技術賞
「帰り道の花」 喜屋武 滉子

決算の概要(単体)

増収・減益、与信コストの増加や市場部門損益の減少により減益。

(億円)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年同期比	
経常収益	424	+4	420
業務粗利益 (a)	315	+7	308
経費 (b)	243	+4	239
実質業務純益 (c=a-b)	71	+2	69
ネット与信コスト (d)	8	+10	▲2
その他臨時損益 (e)	▲10	▲12	2
経常利益 (f=c-d+e)	53	▲20	73
当期純利益	40	▲13	53

※前年同期比は表上計算

決算の概要(連結)

増収・減益、連結ベースにおいても銀行単体の影響で減益。

(億円)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年同期比	
経常収益	627	+6	621
経常費用	558	+24	534
経常利益	69	▲17	86
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	▲12	61

※前年同期比は表上計算

損益推移ダイジェスト(単体 2016/3～2020/3)

(百万円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	前年同期比
顧客向けサービス利益※1	5,312	3,325	3,395	3,472	3,619	+147
うち預貸金収支※2	22,901	22,127	21,890	22,278	22,837	+559
うち役務利益※3	4,849	4,893	5,277	5,347	5,400	+53
うち経費	▲22,438	▲23,694	▲23,772	▲24,153	▲24,618	▲465
市場部門損益	4,171	4,386	4,937	3,238	2,054	▲1,184
証券国際部門損益	4,009	2,828	4,425	1,845	1,778	▲67
うち利息配当金	2,982	3,163	2,911	2,298	1,597	▲701
うち外為・商品売買損益	255	369	▲36	821	149	▲672
うち債券5科目戻	734	▲691	387	▲169	421	+590
うち株式3勘定戻	▲99	▲100	1,123	▲730	▲1,089	▲359
政策投資関連	162	1,537	511	1,393	276	▲1,117
与信コスト関連	▲1,310	▲806	1,808	217	▲869	▲1,086
うち一般貸倒引当金繰入※4	▲787	▲241	850	▲644	▲1,591	▲947
その他・法人税等	▲3,121	▲1,893	▲2,314	▲1,553	▲795	+758
当期純利益	5,052	5,012	7,826	5,374	4,009	▲1,365

※1 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費

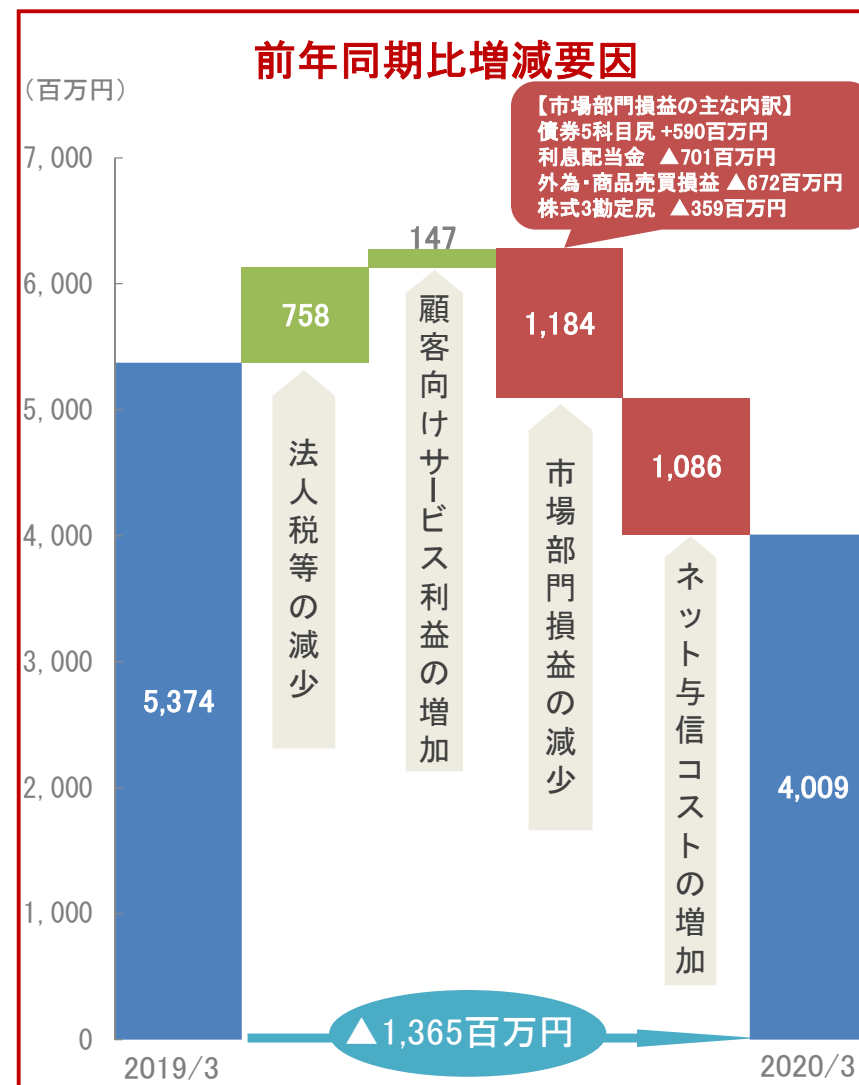
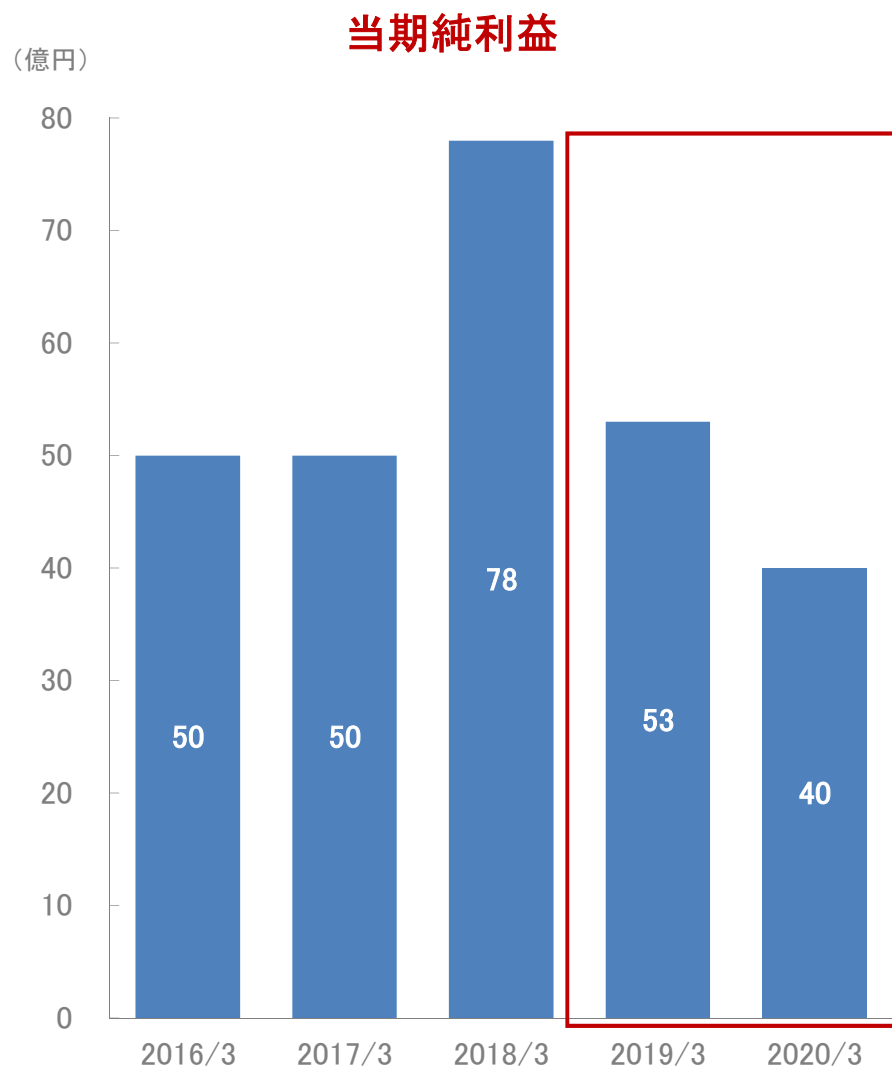
※2 預貸金収支(ローン関係手数料(消費者ローン保証料、団信保険料)含む。預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース。)

※3 役務利益(ローン関係手数料除く。)

※4 一般貸倒引当金については、繰入は負の表示、戻入は正の表示。

2020年3月期の損益状況

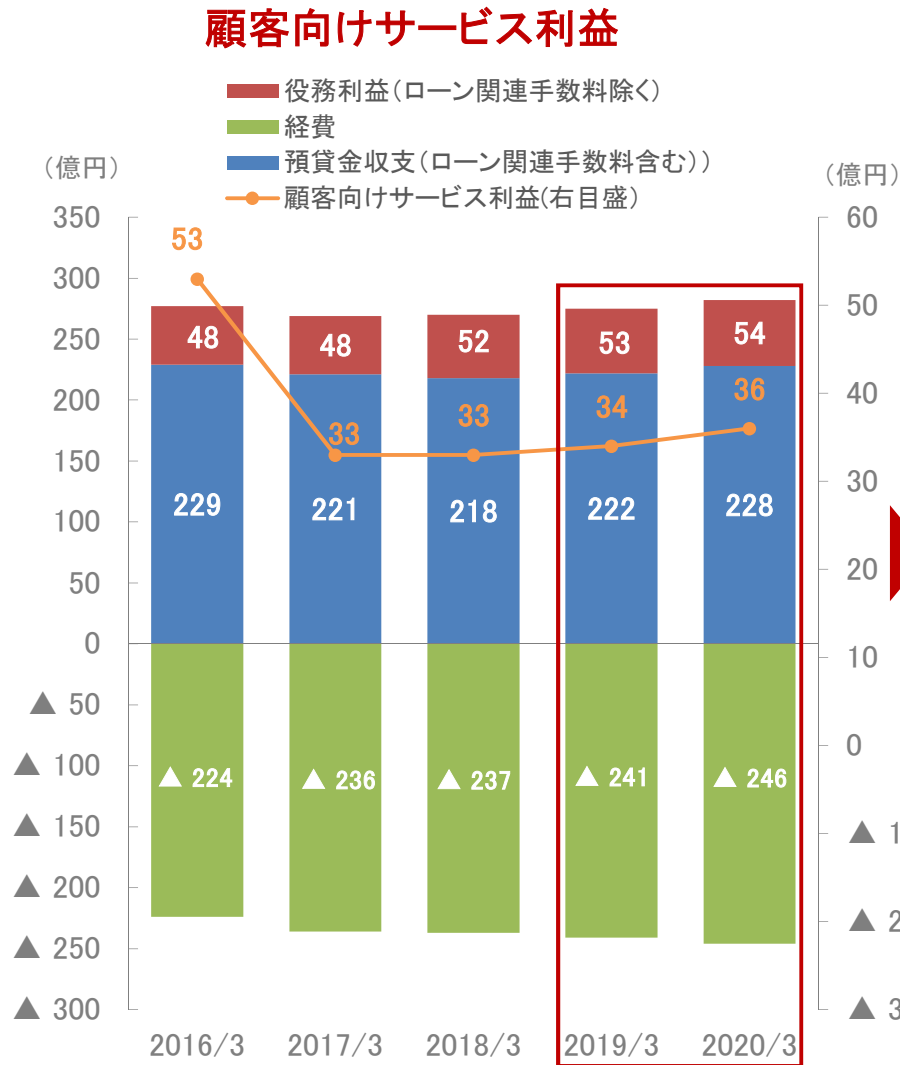
顧客向けサービス利益は増加するも、与信コスト増加および市場部門損益減少により減益。



※ 法人税等の減少の項目は、その他損益の増減を含む。

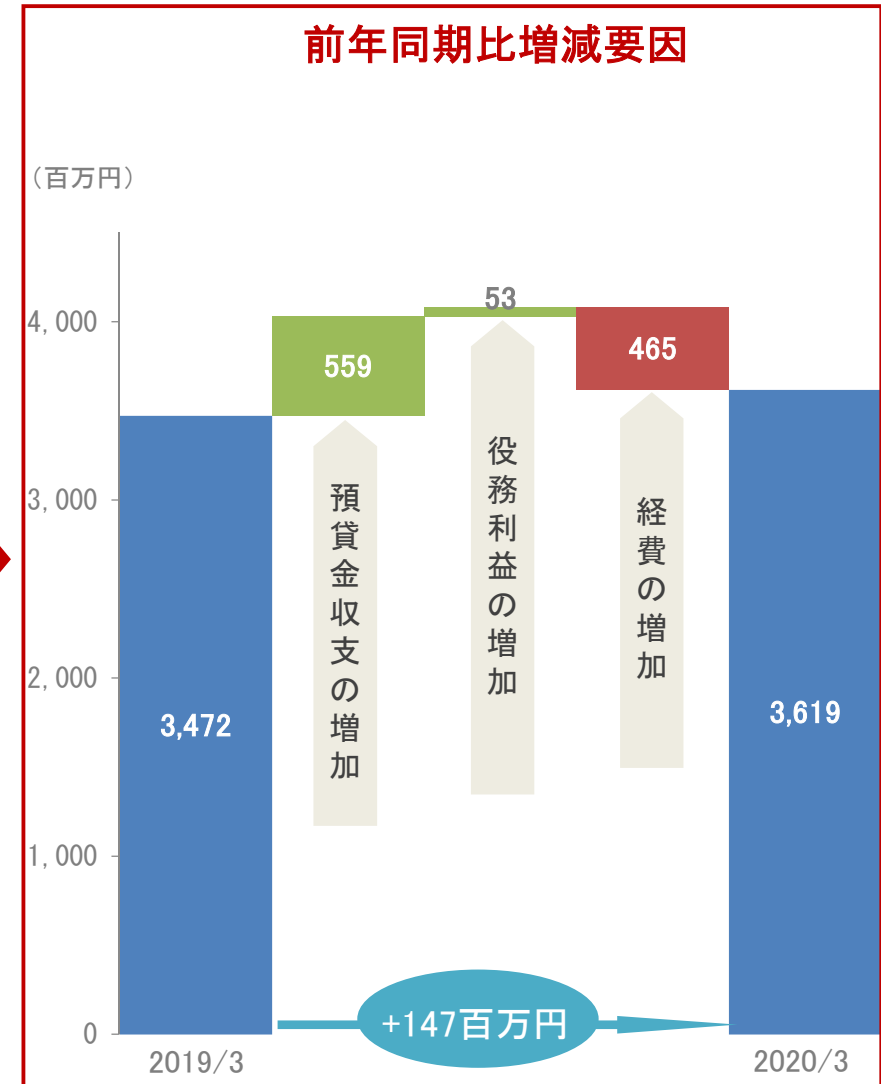
顧客向けサービス利益

経費は増加するも預貸金収支および役務利益の増加により増益。



※ 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費

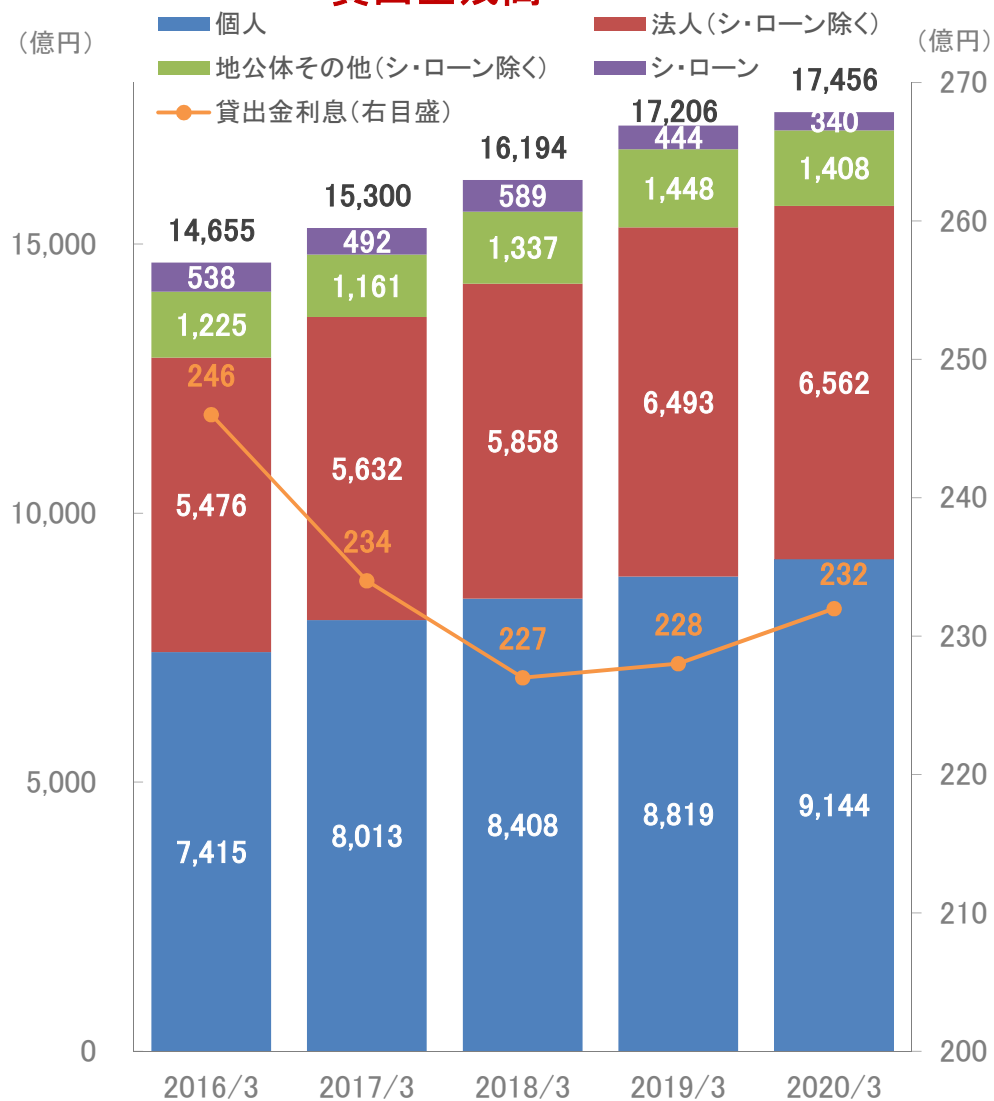
※ 預貸金収支のうち、預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース。



貸出金

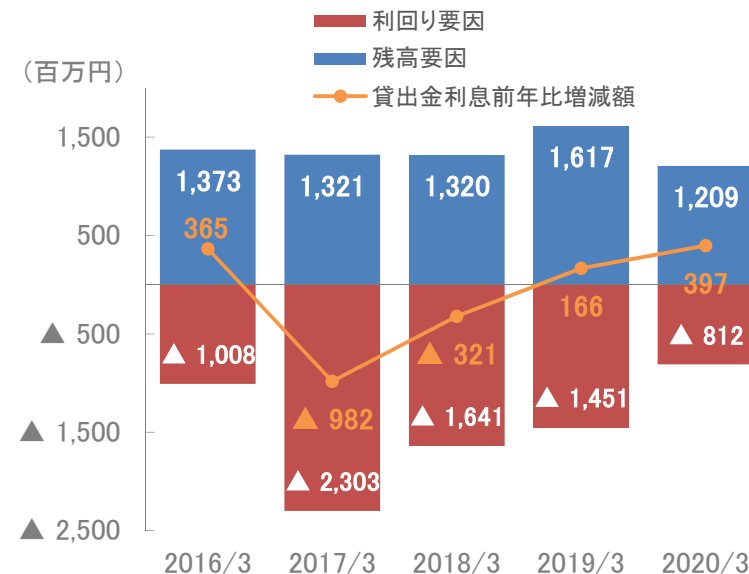
利回りは低下するも残高は順調に増加し、貸出金利息は2期連続で増加。

貸出金残高

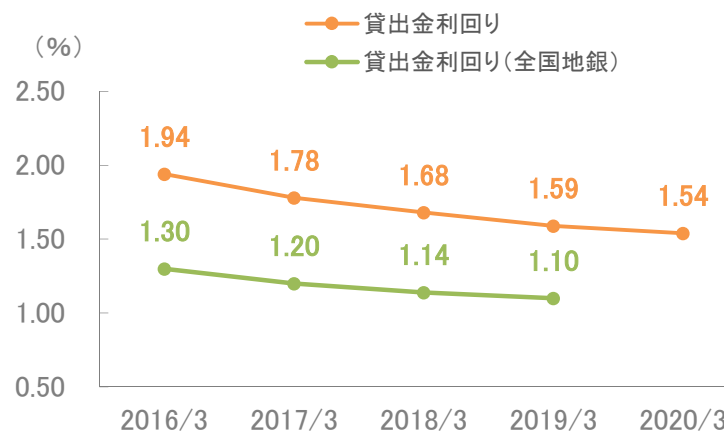


※ 貸出金利息については、ローン関係手数料を控除。

貸出金利息の増減要因



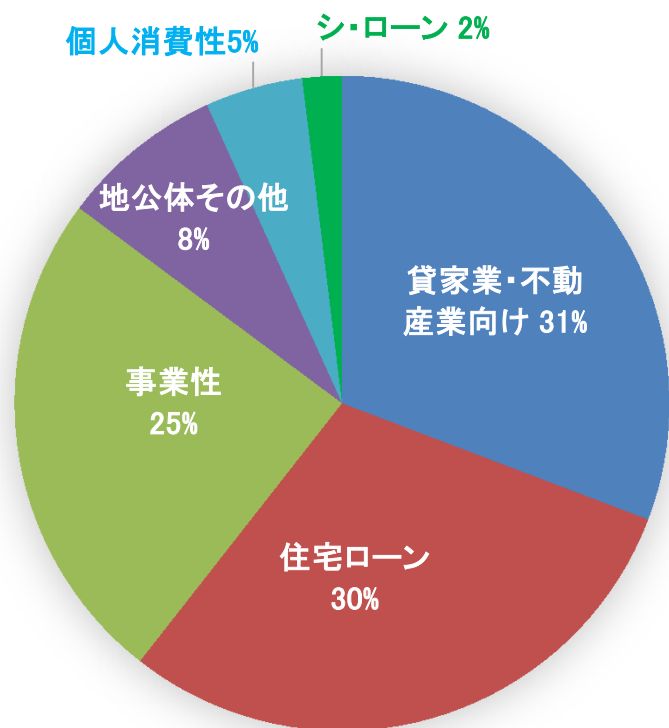
貸出金利回り



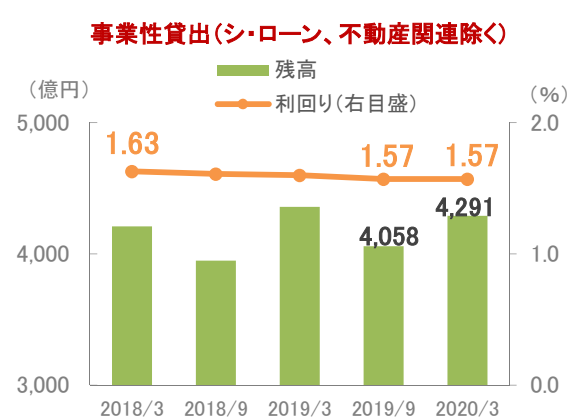
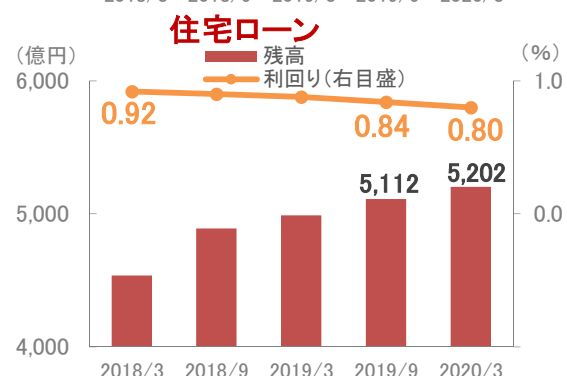
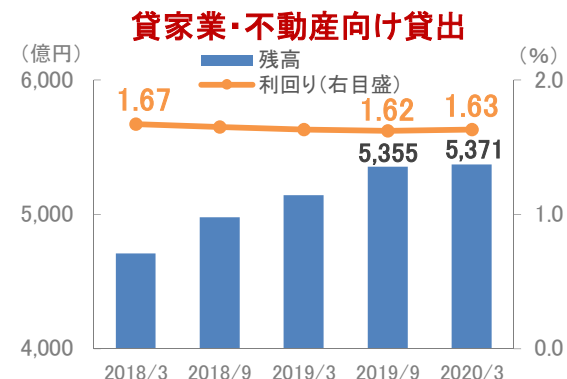
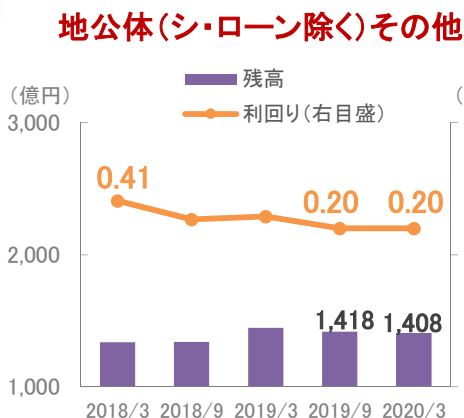
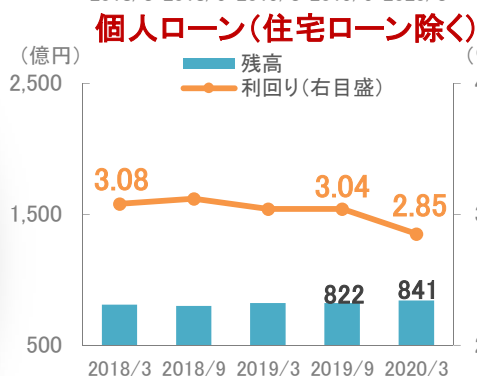
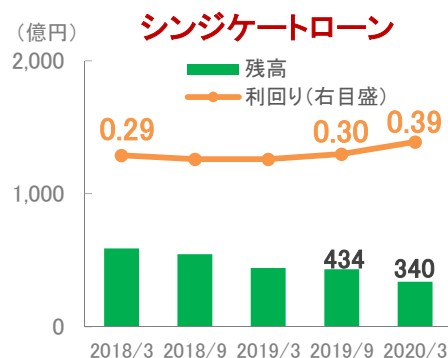
貸出金

住宅ローン、貸家業・不動産向け貸出を中心に残高増加。利回り低下も鈍化傾向に。

貸出金使途別残高割合



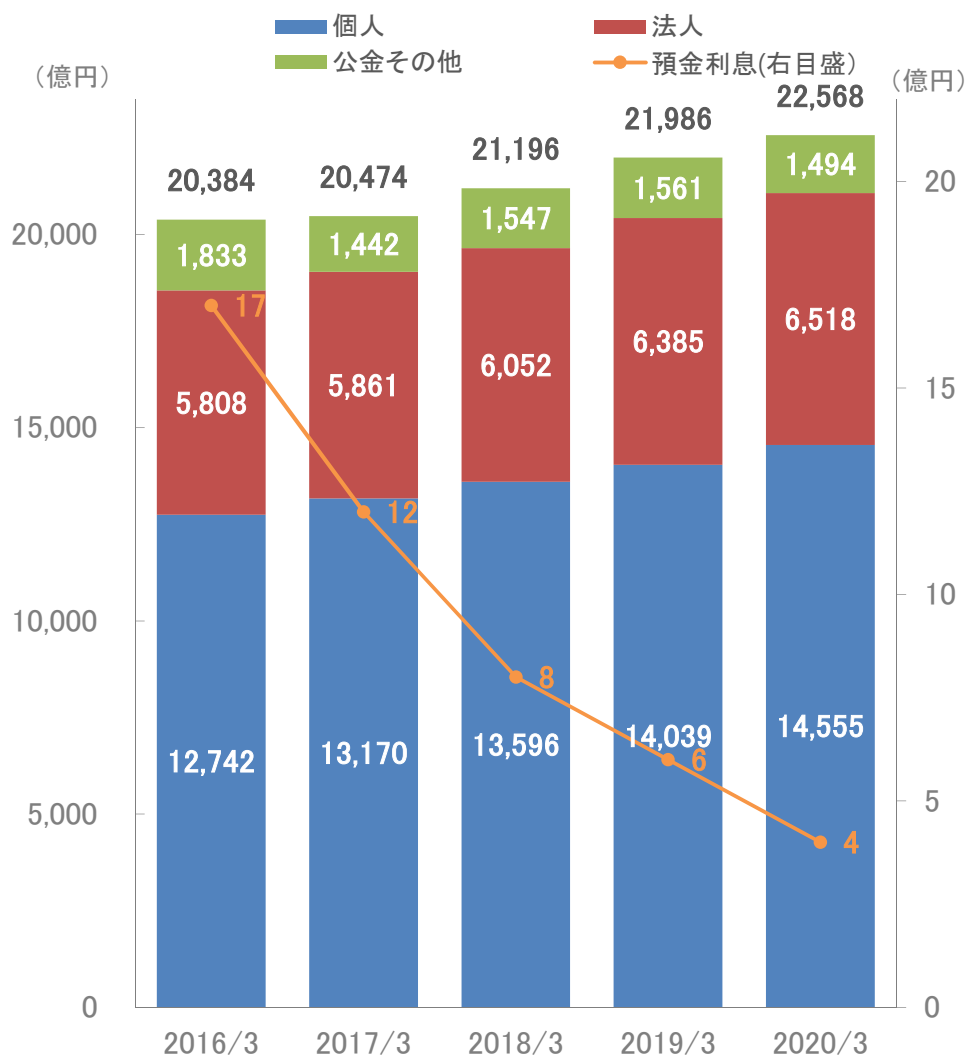
※ 利回りの計算については、ローン関係手数料を控除。



預金

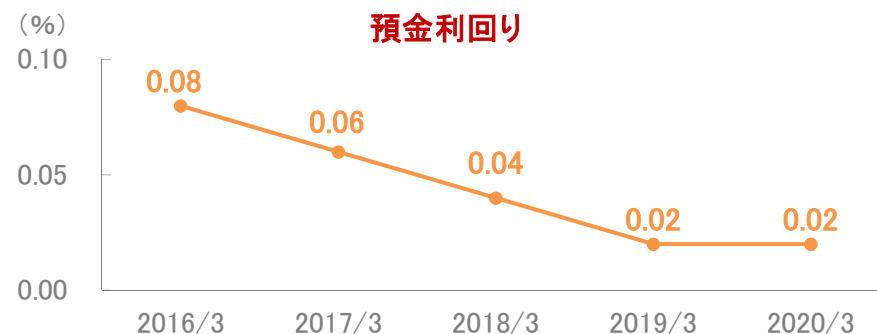
個人預金・法人預金ともに順調に増加。預金利回りは定期性預金の残高減少に伴い低下。

預金残高

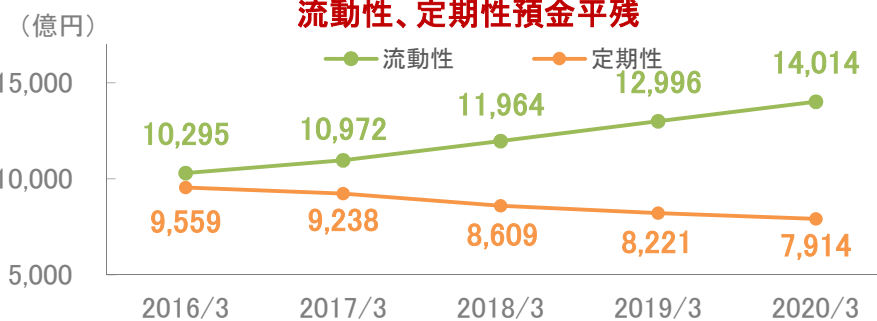


※ 譲渡性預金を含む。

預金利回り



流動性、定期性預金平残



※ 譲渡性預金を除く。

メイン口座数

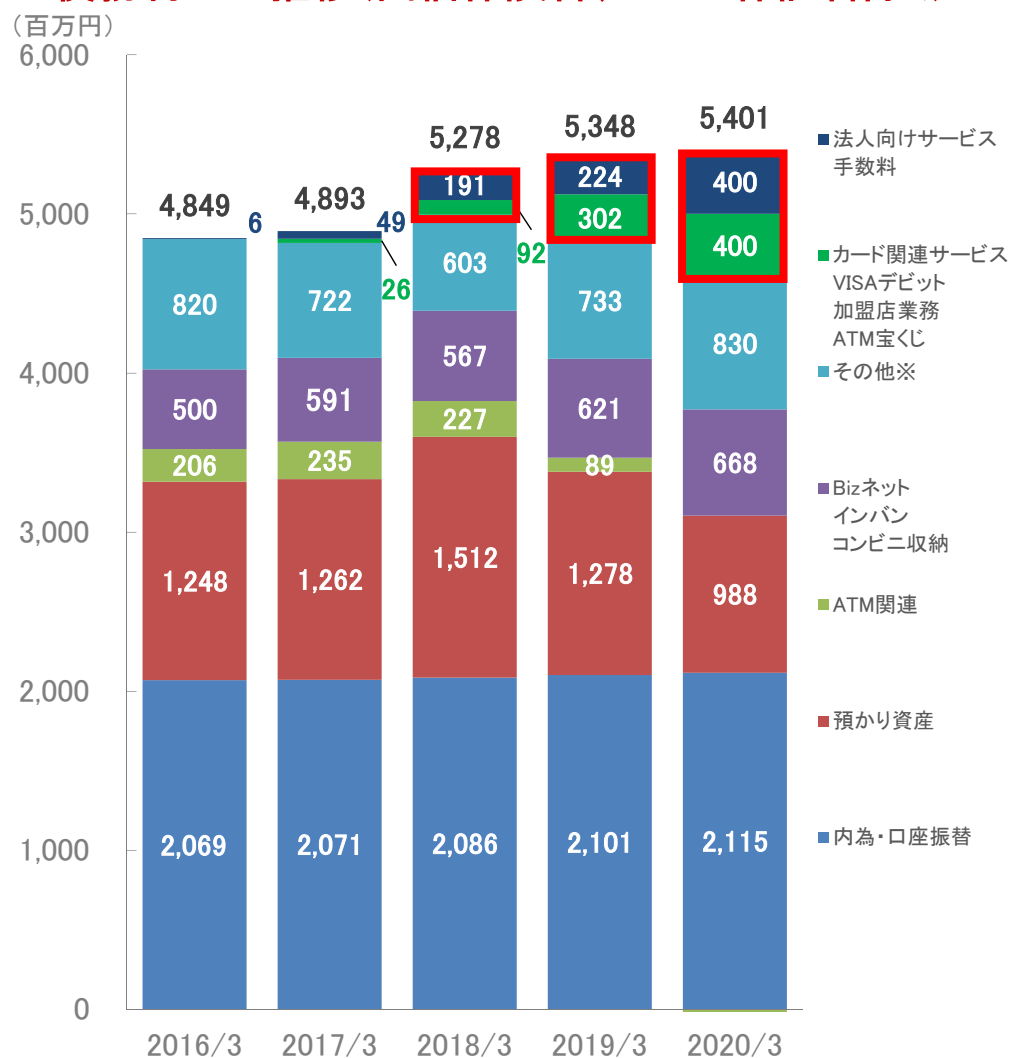


※ メイン口座とは、「給振」、「年金」または「住宅ローン」取引のいずれかに加え、一定のサービス・商品のご利用がある個人口座。

役務利益

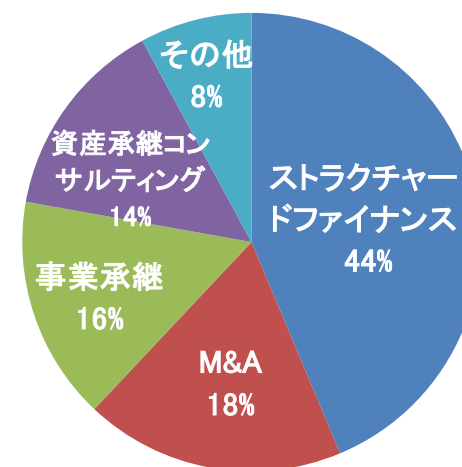
法人向けサービスおよびカード関連サービスの伸びにより役務利益は順調に増加。

役務利益の推移(団信保険料、ローン保証料除く)



※ その他は、債務保証料、外為関連手数料、融資関連手数料、貸金庫、夜間金庫、代理貸付事務手数料等。
なお、2020/3期はATM関連(▲16百万円)もその他に含めている。

法人向けサービス手数料部門別割合



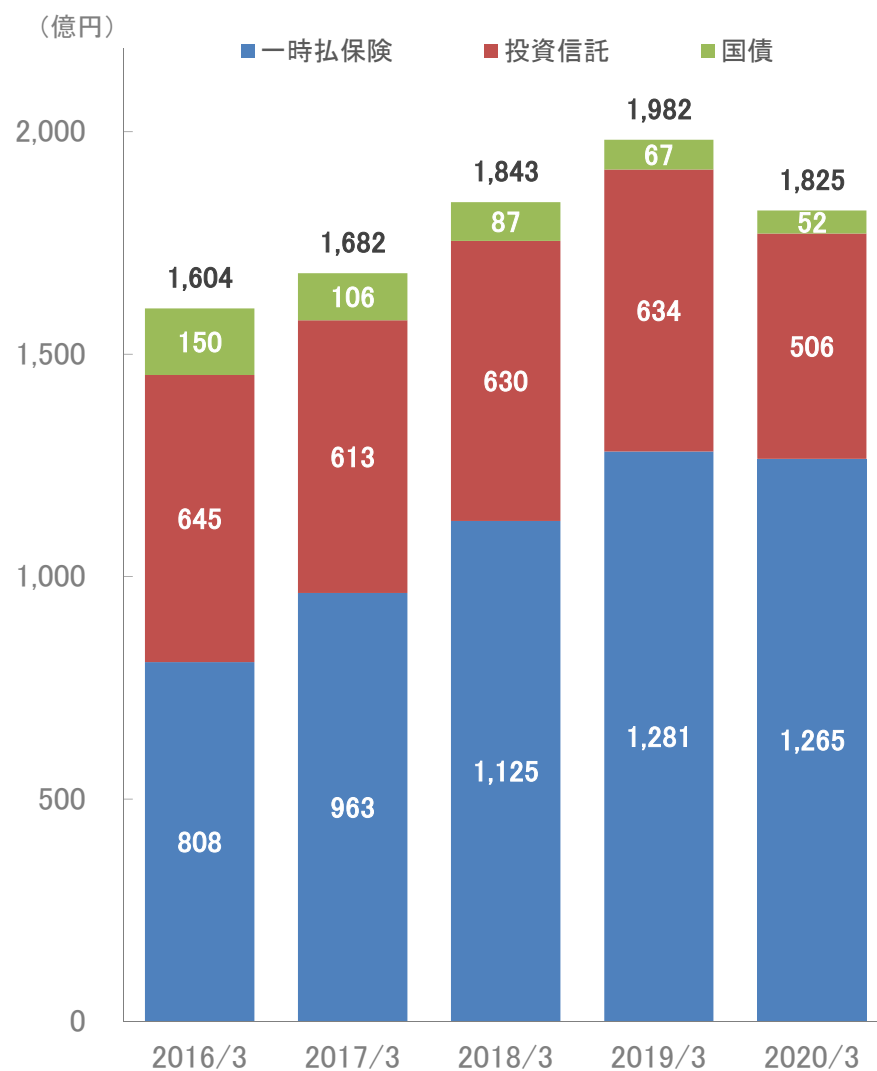
コンサルティング活動訪問件数



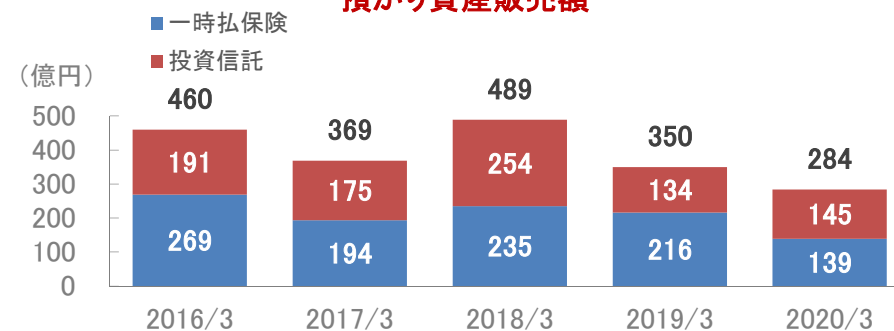
預かり資産

投資信託の基準価格下落等の影響により、預かり資産残高は減少に転じる。

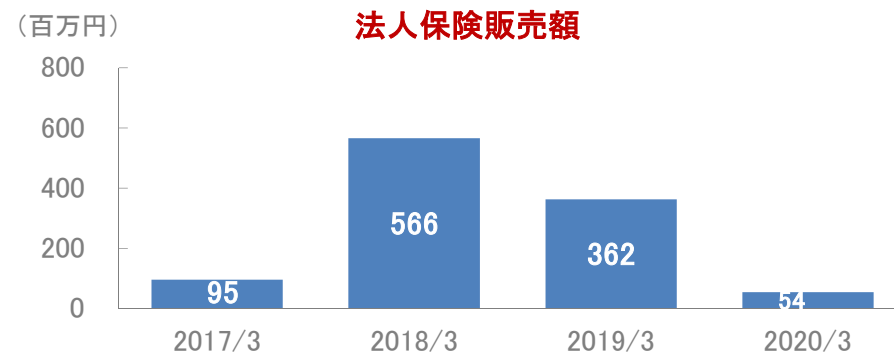
預かり資産残高



預かり資産販売額



法人保険販売額

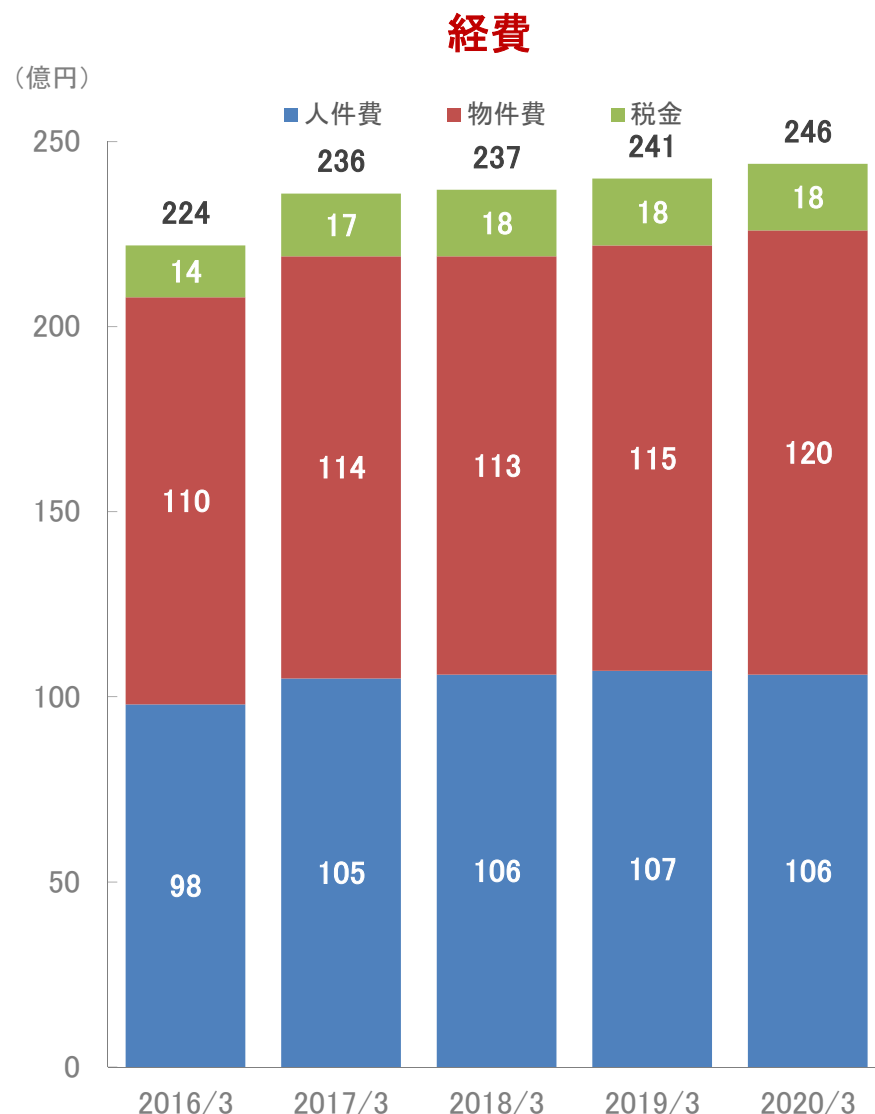


投資信託口座数(残高有)

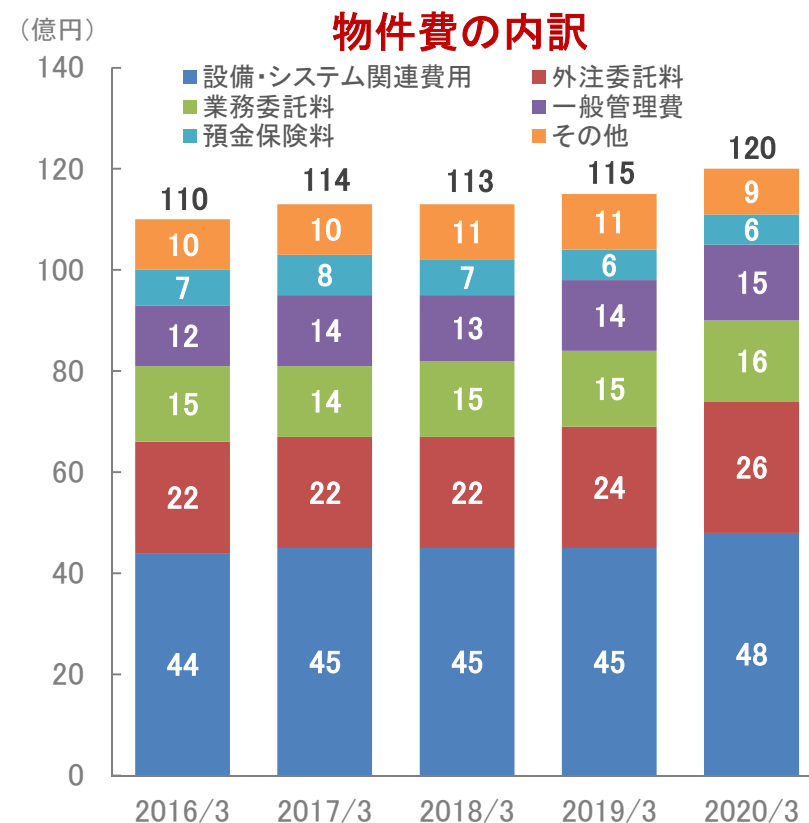


経費

人員の減少により人件費は減少。業務効率化、収益多様化に向けた投資で物件費は増加。



※ 人件費には退職給付に係る過去勤務費用および数理計算上の差異の損益処理分を含む。



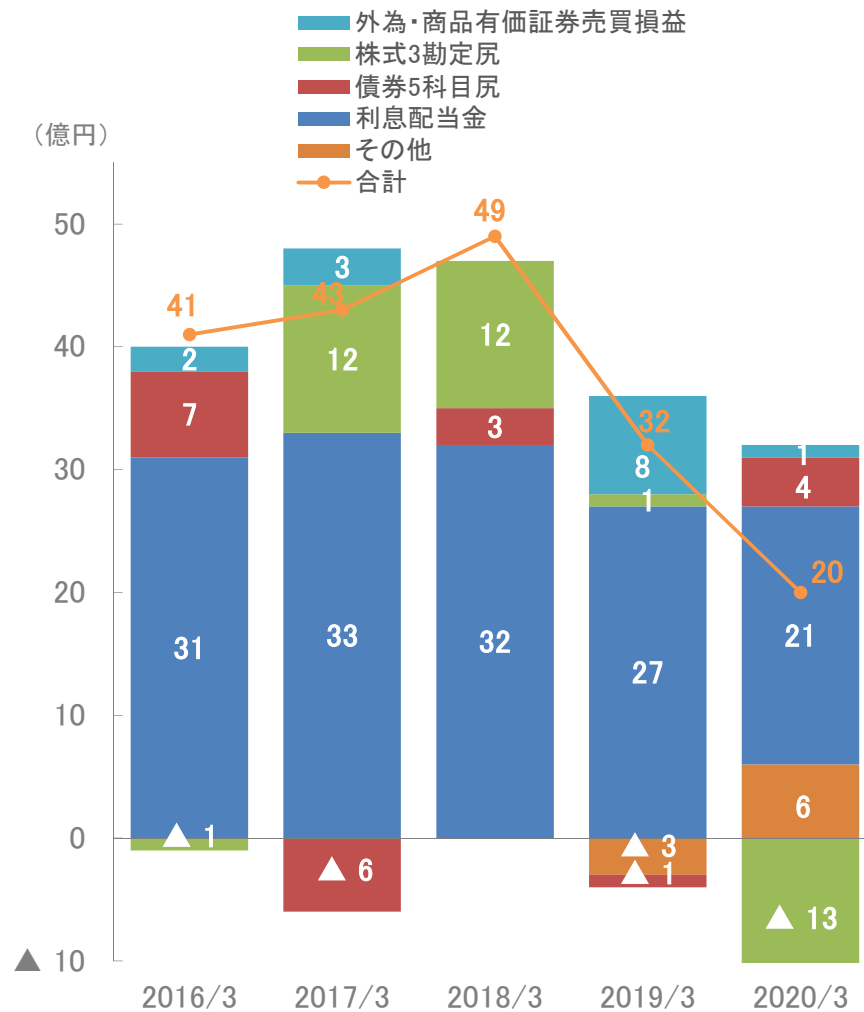
2019年度実施の主な物件費増加要因

- 次世代営業店システム(TfACE、FTB等)の関連償却費
- カード決済端末費(消費者還元事業)
- リスク管理高度化へのコンサル費用 等

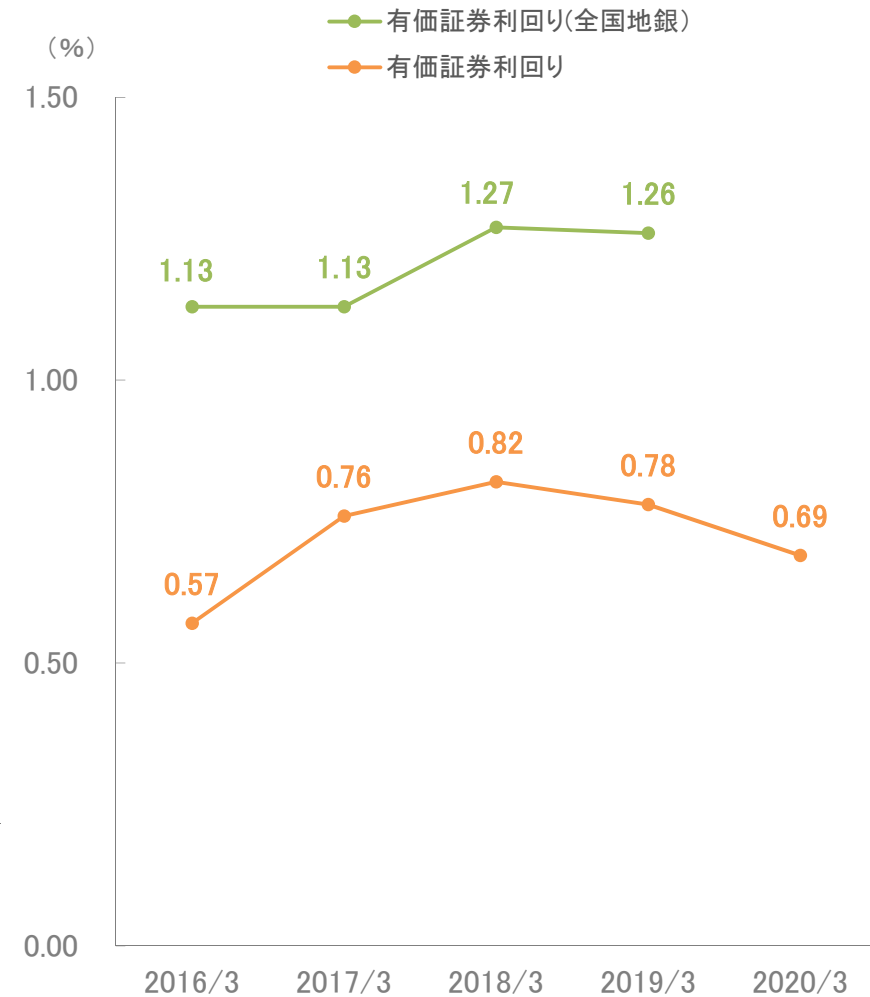
有価証券

外為売買益、株式3勘定戻、利息配当金等の減少により市場部門損益は減少。

市場部門損益



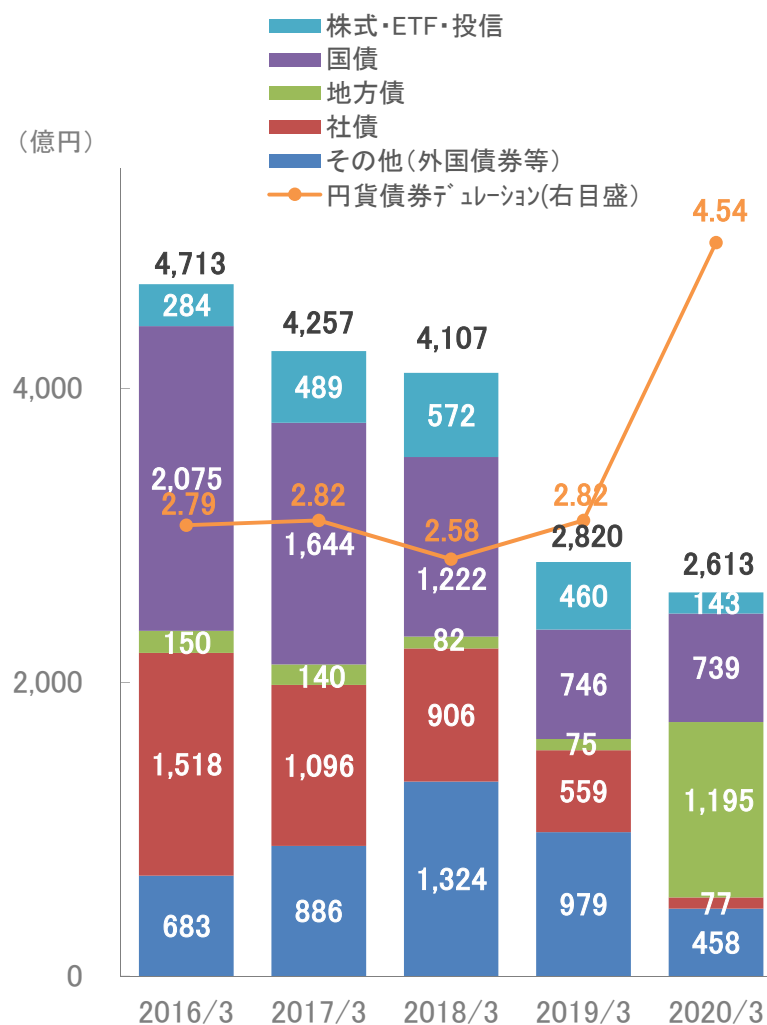
有価証券利回り



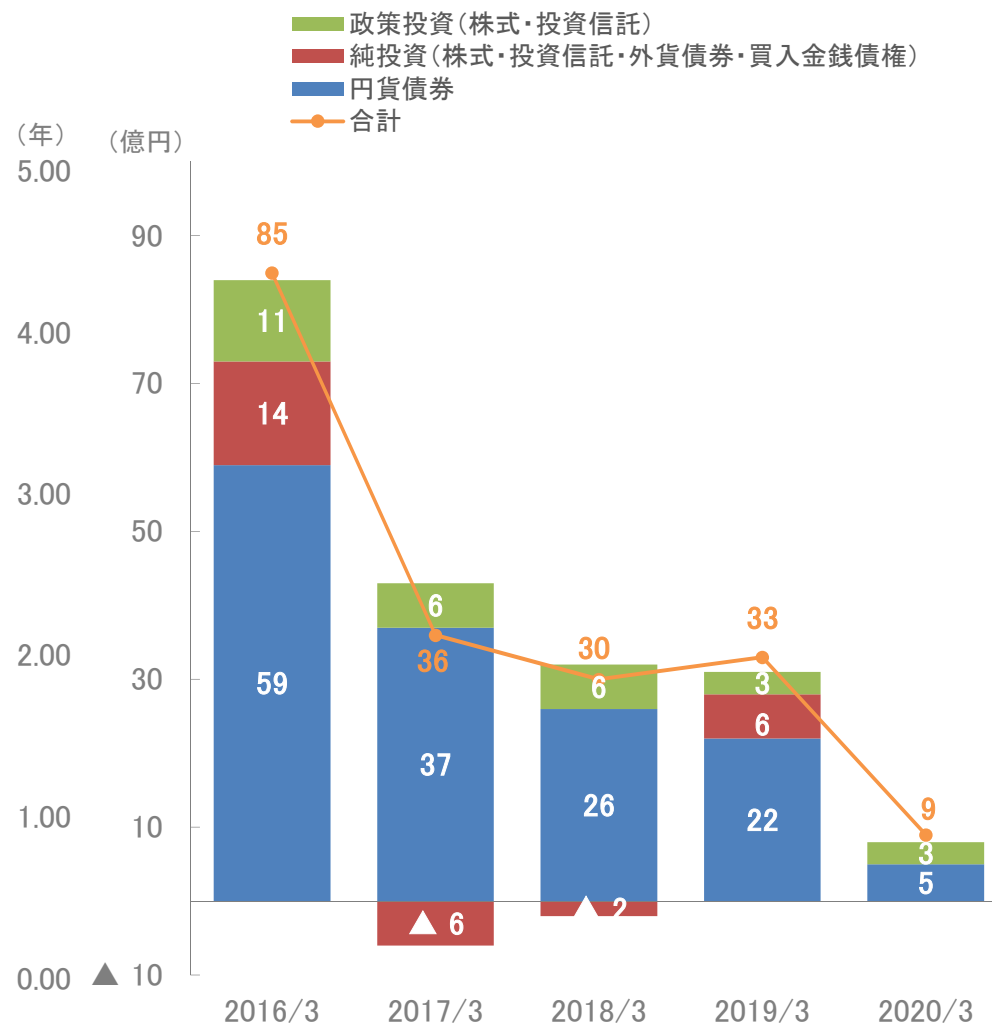
有価証券

地方債の増加によりデュレーションは長期化。有価証券残高はリスクオフのポジションへ。

有価証券残高



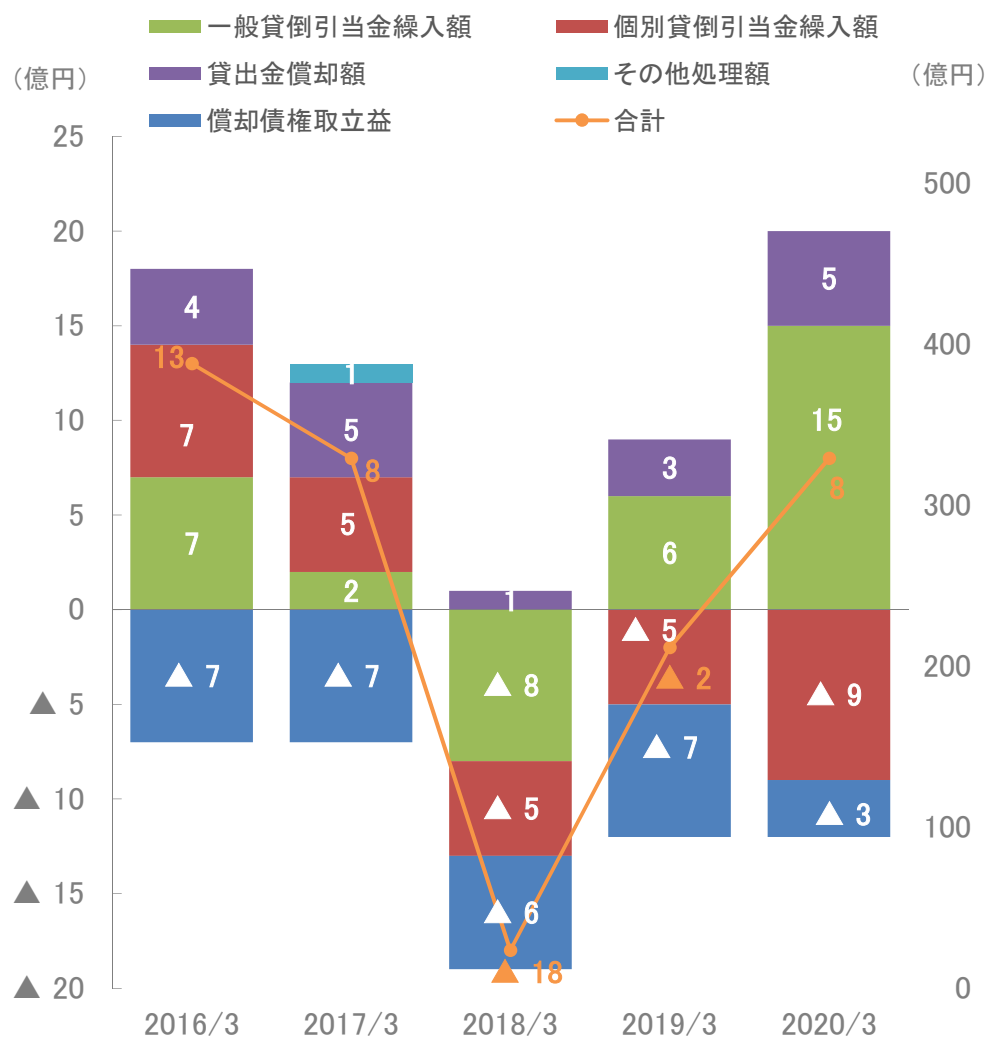
有価証券評価損益



与信コスト・開示債権

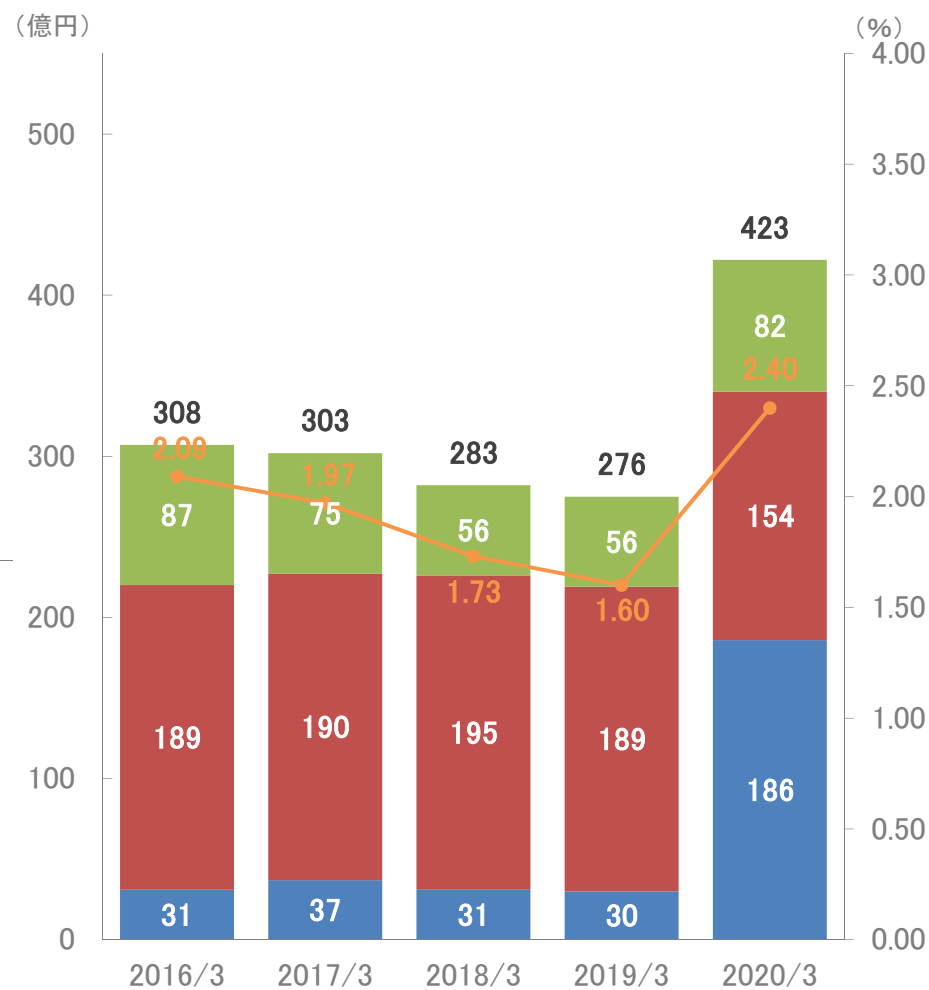
新型コロナの影響(条件変更等)により一般貸倒引当金繰入額および要管理債権は増加。

ネット与信コスト



開示債権

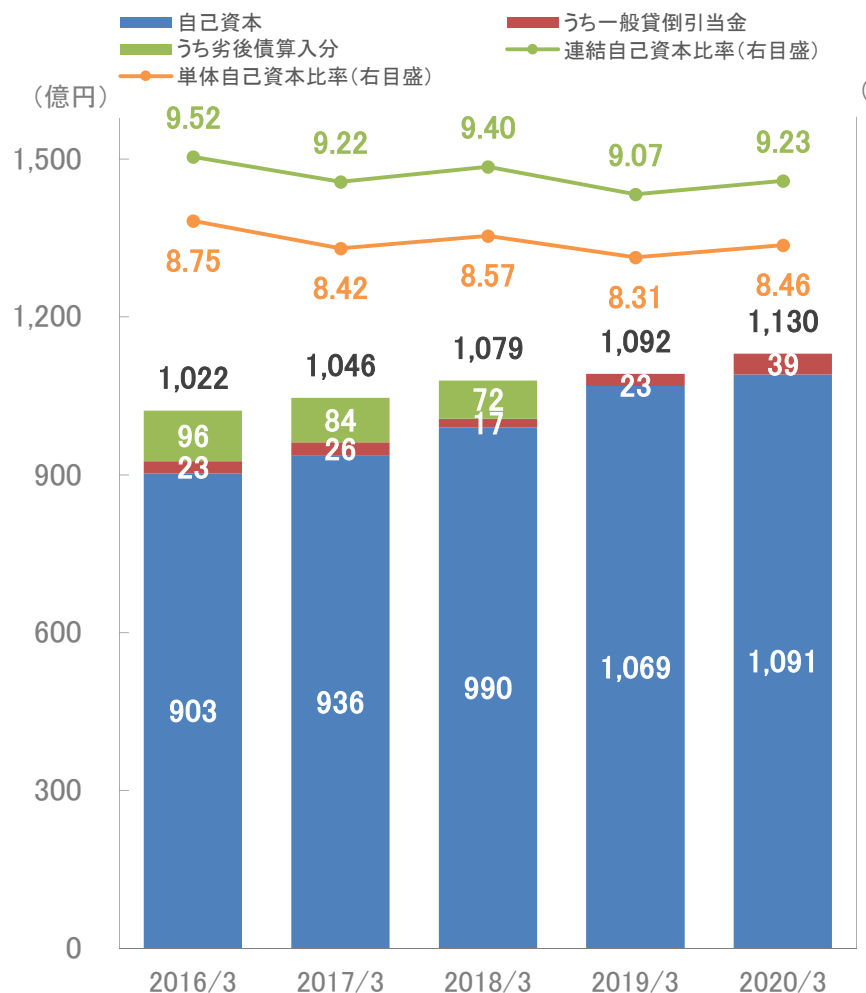
- 要管理債権
- 危険債権
- 破産更生債権
- 開示債権比率(右目盛)



自己資本比率

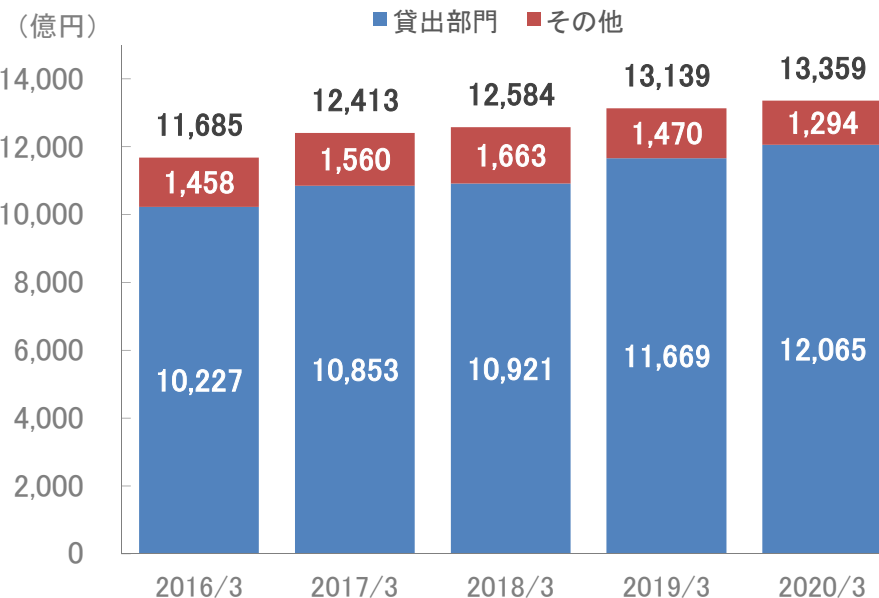
利益、貸倒引当金の積上げに加え、リスクアセットのコントロール強化により、自己資本比率は上昇。

自己資本額と自己資本比率

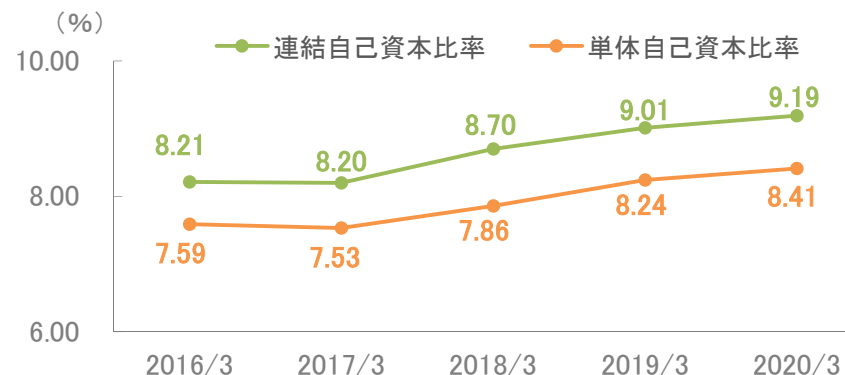


※ 2018/9に公募増資(56億円)を実施。2018/10に劣後債(120億円)を期限前償還。

リスクアセット



自己資本比率(バーゼルⅢ完全実施ベース)

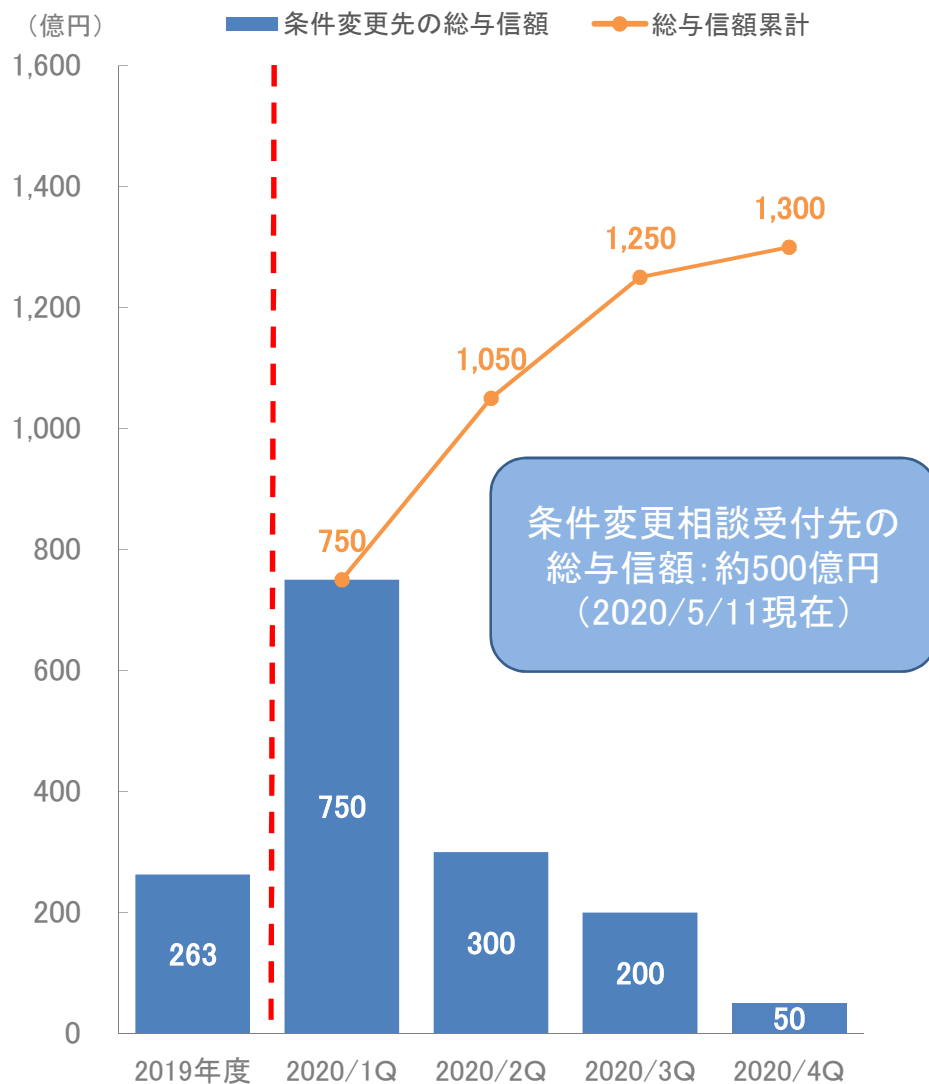


※ 完全実施ベースの自己資本比率は、劣後債および土地再評価差額金の資本算入額をゼロとし、無形固定資産及び前払年金費用の全額を資本調整額として全額計上するベースで算出しております。

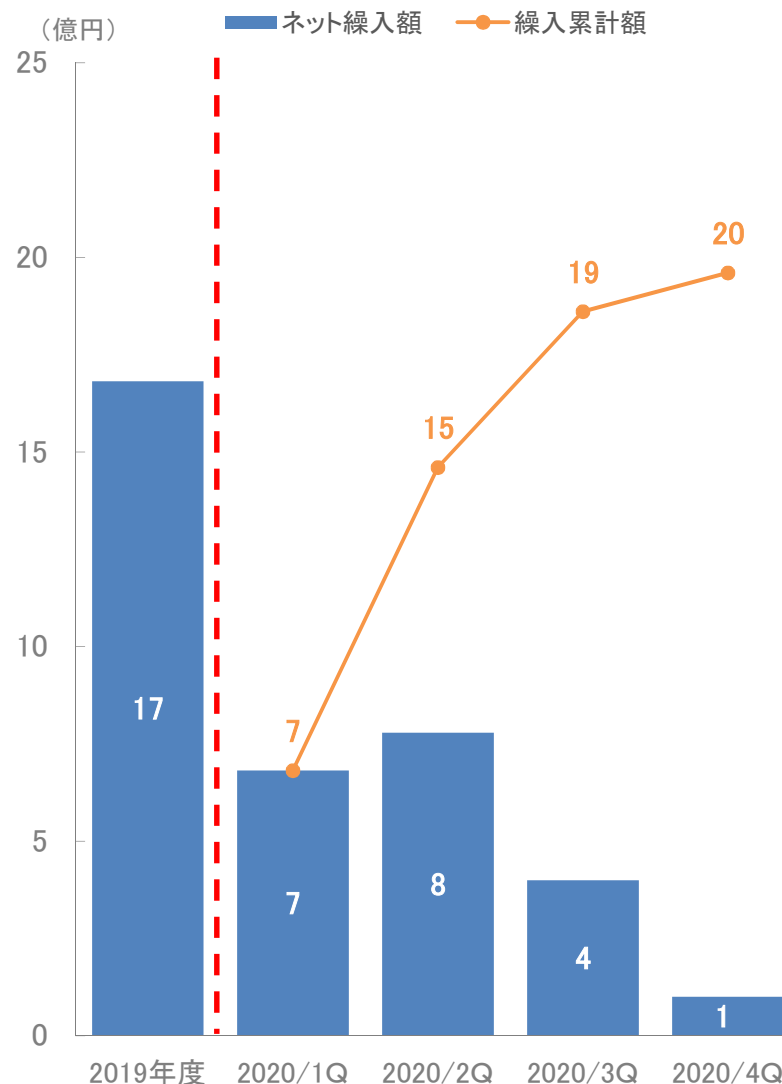
新型コロナウイルス感染症への対応状況

お客様の資金繰り支援を積極的に実施。2020年度中は影響が継続すると予想。

条件変更対応状況



一般貸倒引当金繰入額



※2019年度は実績、2020年度は4月30日までの相談状況等から試算を実施。2020/1Qの引当金増減は、2019年度対応分の戻入を加味し、2Q以降は戻入は加味していない。

2021年3月期業績の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により、単体・連結ともに減益見込み。

単体

(億円)

	2021年3月期		2020年3月期 実績
	予想	前年同期比	
経常収益	395	▲29	424
経常利益	38	▲15	53
当期純利益	23	▲17	40

連結

(億円)

	2021年3月期		2020年3月期 実績
	予想	前年同期比	
経常収益	600	▲27	627
経常利益	50	▲19	69
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	▲19	49

※ 前年同期比は表上計算。



ご清聴ありがとうございました
今後とも琉球銀行をよろしくお願いいたします

本資料について

本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787
Fax : 098-862-3672
E-mail : ryugin@ryugin.co.jp

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合があります。また、資料中の計数は、説明・比較のために独自の定義を用いて算出している場合があります、必ずしも公表数値と一致しない場合があります。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで2020年5月15日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。